



移転オープン10周年記念・平成26年春季特別展

合戦—生き残れ！^{あす}未来のために—

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 2階 企画展示室
1階 館蔵品ギャラリー、
松平家史料展示室
- 会期 平成26年3月21日(祝)~5月6日(振)
- 休館日 4月14日(月)

福井市立郷土歴史博物館が福井市足羽山^{あすわやま}から現在地の養浩館庭園西隣に移転して今年で10周年を迎えます。それを記念して春季特別展「合戦—生き残れ！^{あす}未来のために—」を開催します。

戦国武将たちにとって戦いの場は自己表現、自己実現の場でもありました。戦いの場面を描いた合戦図屏風には、彼らの躍動する姿がダイナミックに描かれています。本展では福井にゆかりのある朝倉義景・柴田勝家・結城秀康をはじめとする戦国武将を取り上げ、合戦図屏風を中心に肖像画や武具などから、その戦いの姿を立体的に紹介します。

過酷な戦いの中に身を置いた戦国武将の姿は、厳しく不安定な社会にあって、ひたぶるに生きようとする我々現代人にも相通じるのではないのでしょうか。戦の世を生き抜き未来へと向おうとした福井ゆかりの武将たちの、たくましく誇り高い姿をぜひご覧ください。

1 姉川合戦

足利義昭を奉じて上洛を遂げた織田信長は永禄13年（元亀元年、1570）4月、朝倉義景を討つべく越前へ出兵するが、近江の浅井長政が反旗^{ひるがえ}を翻したことにより撤退した。6月に徳川家康と共に近江へ再出兵を行い、浅井・朝倉連合軍と姉川河畔で合戦、勝利を収めた。

敗れた朝倉軍では、大太刀を振るって奮戦した真柄十郎左衛門直隆がよく知られている。



姉川合戦図屏風（部分・福井県立歴史博物館蔵）



大太刀 無銘（伝真柄直隆所用、個人蔵）

大太刀 銘行光（真柄の大太刀・白山比咩神社蔵）

※写真の縮尺不同

2 長篠合戦

甲斐の武田勝頼と三河の徳川家康による三河・遠江をめぐる対立の中、天正3年（1575）4月、勝頼は長篠城を奪還するため包囲した。家康は織田信長に援軍を求め設楽原に着陣、21日に両軍が激突した。戦いは当時の最新兵器である鉄砲を大量に用いた織田・徳川連合軍が勝利した。



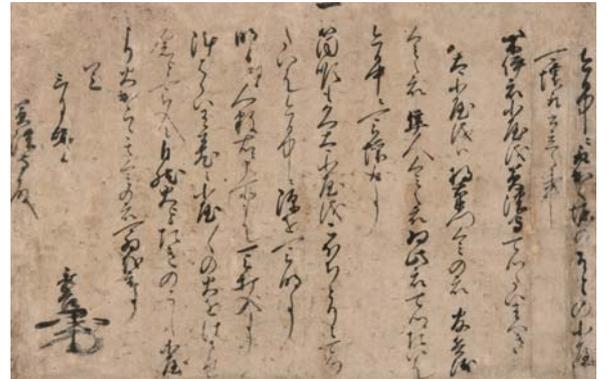
長篠合戦図屏風（部分・犬山城白帝文庫蔵）



武田三将図（山縣昭一氏蔵 当館保管）

3 賤ヶ岳合戦

本能寺の変、清洲会議を経て対立に至った羽柴秀吉と柴田勝家。両軍は天正11年（1583）3月に近江賤ヶ岳で対陣した。4月20日、秀吉の不在を突いた佐久間盛政の急襲により柴田軍が優位に立ったが、秀吉が賤ヶ岳に戻り形勢が逆転、羽柴軍の勝利に終わった。勝家は居城北庄城に火を放ち、自害した。



羽柴秀吉書置（長浜市立長浜城歴史博物館蔵）



賤ヶ岳合戦図屏風（部分・大阪城天守閣蔵）



柴田勝家像
（柴田勝次郎氏蔵）
当館保管

4 小牧・長久手合戦

賤ヶ岳合戦後、豊臣秀吉と織田信雄（信長の二男）との関係が悪化する。信雄は徳川家康と結び、天正12年（1584）3月に挙兵、秀吉と対峙した。4月、密かに家康本領の三河を攻めるべく羽柴軍の池田恒興・森長可らが出発した。これを察知した家康が急襲し、長久手で戦闘となった。恒興・長可は戦死し、この戦いは徳川軍の勝利に終わったが、伊勢方面での戦況は羽柴軍優勢で展開したため、11月に秀吉と信雄・家康が講和し合戦は終結した。



小牧・長久手合戦図屏風
(部分・犬山城白帝文庫蔵)

5 関ヶ原合戦

豊臣秀吉死去後、徳川家康と石田三成が対立するようになる。慶長5年（1600）家康が上杉景勝を討つため東下中、三成ら西軍が挙兵した。家康（東軍）も軍を西進させ両軍が関ヶ原に布陣、9月15日に合戦となった。当初は西軍がやや優勢であったが吉川広家・小早川秀秋らの内通・寝返りもあって東軍が大勝した。



関ヶ原合戦図屏風（部分・敦賀市博物館蔵）



結城秀康東帯画像
(個人蔵)

6 大坂の陣

方広寺鐘銘事件をきっかけに江戸幕府と豊臣氏の対立が深刻化、慶長19年（1614）11月に大坂で幕府軍と豊臣軍が戦闘に及んだ（大坂冬の陣）。このときは堀を埋めることを条件に和議が結ばれたが、翌年5月再び幕府軍による攻撃が始まった（大坂夏の陣）。真田幸村（信繁）らの奮戦も及ばず幕府軍が勝利し、豊臣氏は滅亡した。



井伊家人石井元秀
所用母衣（個人蔵）



大坂夏の陣図屏風（部分・彦根城博物館蔵）

出展資料一覧

No.	資料名	所蔵者
姉川合戦		
1	□大太刀 銘 行光	白山比咩神社蔵
2	大太刀 無銘 附 由緒書	個人蔵
3	大太刀 朱銘 千代鶴国安 木屋研亦長船研之 □ 右愛□	熱田神宮蔵
4	熱田皇大神宮真柄大刀等覚書	熱田神宮蔵
5	朝倉始末記	松平文庫蔵（福井県立図書館保管）
6	鳥（角鹿）教實墓碑（一石五輪塔）部分	角鹿（鳥）家同族会蔵
7	朝倉始末記	小出正彦氏蔵
8	紅糸威本小札二枚胴具足	井伊美術館蔵
9	明智光秀像	本徳寺蔵
10	明智光秀復元模写像	滋賀県立安土城考古博物館蔵（原本・本徳寺）
11	浅井長政復元模写像	滋賀県立安土城考古博物館蔵（原本・小谷城址保勝会）
12	◎朝倉義景像	心月寺蔵（当館保管）
13	黒漆塗総覆輪二十四間阿古陀形筋兜鉢	井伊美術館寄託
14	黒韋威胴丸	井伊美術館寄託
15	◎姉川合戦図	彦根城博物館蔵
16	◎姉川合戦図	彦根城博物館蔵
17	信長記 卷三	名古屋市博物館蔵
18	四戦紀聞 卷一	京都大学附属図書館蔵
19	姉川合戦図屏風	福井県立歴史博物館蔵
長篠合戦		
20	京都五条橋擬宝珠 天正三年銘	個人蔵
21	四戦紀聞 卷三	京都大学附属図書館蔵
22	信長記 卷八	名古屋市博物館蔵
23	武田二十四将図	個人蔵
24	武田三将図	山縣昭一（山県昭彦）氏蔵（当館保管）
25	長篠合戦図屏風（複製）	犬山城白帝文庫蔵
26	山縣家系	山縣昭一（山県昭彦）氏蔵（当館保管）
27	山縣昌景所用猩々緋指物布	山縣昭一（山県昭彦）氏蔵（当館保管）
28	むかで衆旗型紙残欠	山縣昭一（山県昭彦）氏蔵（当館保管）
賤ヶ岳合戦		
29	本朝名将百図（うち柴田勝家像・豊臣秀吉像）	長浜市長浜城歴史博物館蔵
30	◎賤箇岳古戦場陣備全図	彦根城博物館蔵
31	柴田勝家像	柴田勝次郎氏蔵（当館保管）
32	柴田勝家復元模写像	滋賀県立安土城考古博物館蔵（原本・柴田勝次郎氏）

No.	資料名	所蔵者
33	太刀 無銘 号 袖切丸	西光寺蔵
34	柴田勝家位記（贈従三位）	西光寺蔵
35	贈従三位柴田勝家墓前策命	西光寺蔵
36	賤ヶ岳合戦図屏風	岐阜市歴史博物館蔵
37	賤ヶ岳合戦図屏風	大阪城天守閣蔵
38	中川清秀像	井伊美術館蔵
39	柴田退治記	姫路文学館蔵
40	太閤記	京都大学附属図書館蔵
41	羽柴秀吉書置 羽柴秀長宛	長浜市長浜城歴史博物館蔵
42	柴田勝家書状	宮下玄覇氏蔵
43	柴田勝家書状 粟屋五郎左衛門尉宛	宮下玄覇氏蔵
44	刀 無銘 伝景光	個人蔵
45	脇指 銘 兼春作	個人蔵
小牧・長久手合戦		
46	小牧・長久手合戦図屏風（複製）	犬山城白帝文庫蔵
47	四戦紀聞 卷四	京都大学附属図書館蔵
48	越前世譜 一	越葵文庫蔵（当館保管）
49	結城秀康小像	越葵文庫蔵（当館保管）
50	豊臣秀吉画像 梅戸在貞筆	敦賀市立博物館蔵
51	豊公娶婦図 都路華香筆	敦賀市立博物館蔵
52	短刀 銘 来国俊	個人蔵
関ヶ原合戦		
53	関ヶ原合戦図屏風 菊池容斎筆	敦賀市立博物館蔵
54	関ヶ原合戦図絵巻 鳥文斎栄之筆	名古屋市博物館蔵
55	関ヶ原御陣之図	岐阜市歴史博物館蔵
56	結城秀康東帯画像	個人蔵
57	徳川十六将図	運正寺蔵
58	関ヶ原合戦時使用陣太鼓	井伊美術館蔵
大坂の陣		
59	十文字槍 銘 広正	越葵文庫蔵（当館保管）
60	素懸威類当	越葵文庫蔵（当館保管）
61	井伊家人用石居元秀所用母衣	個人蔵
62	茶壺 銘 初花	越葵文庫蔵（当館保管）
63	松平忠直像	井伊美術館蔵
64	伝松平忠直所用の太鼓	簸川神社蔵
65	忠直卿代中根孫右衛門宛行状幅	福井市春嶽記念文庫蔵
66	松平忠直筆古歌の幅	当館蔵
67	隆芳公御略伝	福井市春嶽記念文庫蔵
68	架鷹図 初代橋本長兵衛筆	敦賀市立博物館蔵
69	大坂夏の陣図屏風	岐阜市歴史博物館蔵
70	大坂夏の陣図屏風（最上屏風）	大阪城天守閣蔵
71	大坂夏の陣図屏風（若江合戦図）	彦根城博物館蔵

◎…重要文化財 □…県指定文化財

■ 関連行事

ギャラリートーク（担当学芸員による展示解説）
 3月22（土）、23（日）、30（日）、
 4月6（日）、12（土）、19（土）、20（祝）
 5月4（日）、5（祝）、6（振）※各日14時より約1時間

※その他イベントについては、ホームページをご覧ください。
<http://www.history.museum.city.fukui.fukui.jp/>

松平家史料展示室 展示解説シートNo.81
 平成26年3月21日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3-12-1
 電話(0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
 担当 角鹿尚計 田中伸卓 藤原千穂

印刷 白崎印刷